

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 言葉を書き、国語辞典にのっている形に直しましょう。

弟は、遊びに行ったり、暗くなっても帰ってこない。

ア (行く) イ (暗い)

しぶしぶ書いた感想文を先生にほめられて、うれしかった。

ウ (書く) エ (うれしかった)

2 () に合う言葉を書き、下の () からえらんで書きましょう。

うちの母が作ったのが、(この) パンです。



これ こんな この ここの

(これ) は、母と作ったパンです。

食べたことがない。(こんな) おいしいパンは。

やきたてのパンを売っているのは、(ここ) のお店です。

3 () の二つの漢字の同じ部分を書き、その部分の名前も書きましょう。



緑紙 (いとへん)

板様 (きへん) 仕係 (いんにん)

泳油 (さんずい) 助動 (ちから)

白いぼうし

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 絵に合う言葉を書き、 () からえらんで書きましょう。



ぼうしの (つば)



シャツの (そで)



(おかつぱ) の女の子



いなかの (おふくろ)

そで (とって) つば (おかつぱ) おふくろ (みるみる)

2 () に合う言葉を書き、 () からえらんで書きましょう。

遊びにむちゅうだと、(みるみる) 時間がたつ。

毎朝、母は台所を (せかせか) と動き回る。

さくらの花びらが、風で (ひらひら) まっ。

せかせか (じろじろ) ひらひら (みるみる)



3 () と同じ意味の言葉を書きえらんで、 () でかこみましょう。

おばさんから、見事なりんごがとどく。

(光った) りっぱな (いいにおいの)

赤ちゃんを見ると、人はひとりでにわらい顔になる。

(自分で) ぐうぜんに (しぜんに)

外国の話聞いて、目を丸くする。

(びつくりする) がっかりする



あれもこれも言ってもおぼえてくれないからね。三つくらいはいいからね。



ろ (ろ) う (う) か (か) こ (こ) う (う) か (か) つ (つ) う (う) か (か)



み (み) かん (かん) ず (ず) かん (かん) や (や) かん (かん)



ば (ば) しゃ (しゃ) き (き) しゃ (しゃ) い (い) しゃ (しゃ)

シ (シ) ル (ル) ゴ (ゴ) ル (ル) ボ (ボ) ル (ル)

ズ (ズ) ック (ック) コ (コ) ック (ック) キ (キ) ック (ック)



問題集「ひらめき道場」の巻頭語「ろ」「う」「か」の漢字をそれぞれ一字ちがえて、新しい言葉を作ろう。

漢字の組み立て

32-33

名前 () 年 () 組 () 番 () 月 () 日 () 点 ()

1 漢字の部分の名前を、□からえらんで書きましょう。

□	□
(たれ)	(によう)
□	□
(あし)	(かんむり)

かんむり によう かまえ あし たれ

2 同じや の部分に関係あるものを、□からえらんで書きましょう。

雪	雲	照	熱	詩	調	菜	草
(天気)	(火)	(言葉)	(植物)	(植物)	(植物)	(植物)	(植物)

水 火 言葉 植物 天気

3 と同じ部分を持つ漢字を、同じ文から一つえらんで書きましょう。

友だちの意見に好感を持つ。
新しい広いお店で買物をする。
近くの遊園地でお祭りがある。
図書館の近くの公園で遊ぶ。

(感) (店) (遊) (園)

漢字辞典の使い方

34-37

名前 () 年 () 組 () 番 () 月 () 日 () 点 ()

1 漢字辞典で「外」を引きます。ア、イ、ウの□に合う言葉や数を書きましょう。

【外】 ア 総画 イ ガイ ゲ ウ そと ほか

エ 外 外 外 外

オ 意味 内。 イ、ウに合う漢字一字をそれぞれ書きましょう。

エに合う漢字を二文字で書きましょう。

オに合う漢字を一文字で書きましょう。

対 () 筆順 () 訓 () 音 ()

2 の漢字を辞典で引き、表の空らんに合う言葉を書きましょう。

位	果	部首
イ	木	音読み
イ	カ	訓読み
くらしい	は(たす)	その漢字を使った語句
(例)方位	果実	

結果は二位だったよ。くやしい。

「二」の漢字で、新しい漢字を作るんだね。

日と月で、明るい。

木の上に立って、見ているのは親。

門と口で、問う。

鳥と口で、鳴く。

竹を合わせ、答える。

人の言うことを信じる。



本や教科書の「きく」って何? の巻

大切な言葉や新しい漢字がどのページにのっているか書いてあるんだ。

なんだか見づらければ、役に立つの? 使いなれると何がどこに書いてあるか、すぐに分かるようにしてあげよう。

調べ上手になるには「きく」を利用するのいいだね。

漢字辞典で「きく」って何? の巻

漢字辞典で「きく」って何? の巻

月別ごつがい

月別ごつがい

名前 ()

聞き取りメモのくふう

名前 () 年 組 番 () 月 日 点

40-45

1 「メモの取り方のくふう」について、正しいもの二つに○をつけましょう。

- (○) すばやく書くために、記号や短い言葉を使う。
- () だれが読んでも分かるように、ていねいに書く。
- (○) 聞き取れなかったことは、印をつけておく。
- () 「何が、何だ」などと、主語・述語をはっきりさせて書く。



2 下級生に「委員会活動」について説明をします。どんな順で話すとかかりやすいですか。番号を書きましょう。



- (2) 美化委員会の仕事は、主に次の二つです。
- (4) ですから、花好きな人にこの委員会をおすすめします。
- (3) 一つ目は、校庭の花の手入れです。二つ目は、校庭のそうじです。
- (1) わたしたちの美化委員会の活動について話をします。
- (5) みなさん、わたしたちといっしょに校庭を美しくしませんか。

3 行事の日と物の数を、表に漢字で書きましょう。

行事の日	物の数
音楽会 六日	七つ
運動会 七日	六つ
遠足 二十日	五つ
児童会 八日	八つ

アップとルーズで伝える

名前 () 年 組 番 () 月 日 点

47-59

1 と意味がにている言葉を選んで、記号を書きましょう。

- サッカー場の観客席は、**ほぼ**まんいんです。
 - ルーズだと選手の顔つきまでは、**なかなか**分からない。
 - 天気よほう通り、風は午後から**いよいよ**強くなった。
- ア本当は **イ** だいたい **ウ** ますます **エ** かんたんに



2 の言葉の意味を、——でつなぎましょう。

- 目的を決める。全体が一つにまとまること。
- 広いは広いで雪が、ふる。ねらいや目あてのこと。
- クラスが一体となる。新しいことを見つけ出すこと。
- あるかぎられた広さや大きさ。

3 次の文を、説明されている言葉と説明している部分に分けましょう。

ア 広いは広いをうつつすとり方を、「ルーズ」といいます。
 イ 「首都」は、その国をおさめる役所のある都市です。
 ウ 都道府県の一部で、町村をふくんだところを「郡」という。

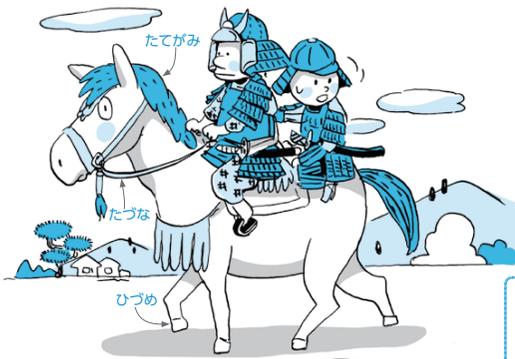


説明されている言葉	説明している部分
ア 例 ルーズ	広いは広いをうつつすとり方
イ 首都	その国をおさめる役所のある都市
ウ 郡	都道府県の一部で、町村をふくんだところ



言葉のご先祖様

「尻馬にのる」の編



「意味 考えもなしに、人の意見についていくこと。」

馬の後ろに 乗ついたら、 楽だったけど...

「尻馬にのる」 自分で「な」を持って いないので、行き先は 相手まかせになる。 そこから 自分の意見を持たず、 人に「だ」をいれて 押しつたのだよ。



名前 ()



大根 おろし

雪 おろし

かぶと虫



おじやま虫



泣き虫



青空



くもり空



うわの空



次の作文を読んで答えましょう。

今日、子ども会で近くの公園のそらじをしました。そらじが終わるころ、ネクタイをした男の人が通って行き、ぼいと、たばこのすいがらをすてたのです。ぼくはその人の前で、すいがらを拾ったけれど、その人は、平気な顔でした。いま、ぼくは、おこりたい気持ちになりました。



ア〜エを国語辞典にのっている形に直しましょう。

- ア (通る) (イ) (すてる)
- ウ (平気) (エ) (いまましい)



作文の言葉は、後につづく言葉によって形が変わります。() に合う文字を書きましょう。

たごは (たごは) 近 (か) った

近 (く) ない	近 (い) ので	近 (け) れば
おこ (る) とき	おこ (れ) ば	おこ (ら) ない

おこ (ら) ない

おこ (る) とき

1 新聞づくりについて、正しいもの二つに○をつけましょう。

- () 実際に見てきたものだけを、記事にします。
- (○) 伝えたい事を短くまとめたものを、「見出し」にする。
- () いちばん読んでほしい記事を、まん中に「わりつけ」します。
- (○) 記事は、グラフや表・写真をうまく使って、長すぎないようにする。



2 () に合う言葉を () から選んで書きましょう。

「インタビューをする」「実際に見て調べる」などをして (取材) をする。



記事をより分かりやすくするために、(写真・絵・図) を使う。

細かい数字は、文章で表すより (グラフ) で表す方が見やすい。

3 新聞作りについて、続く言葉を () でつなぎましょう。

- 「です」「ます」と、「だ」「である」が、 () 「わりつけ」にする。
- 短い言葉で内容が分かる () 交ざらない文にする。
- 一つ一つの文章の主語と述語が、 () 合っているかを見る。
- 最も伝えたい記事を () 最初に書く。
- () 「見出し」にする。

取材 写真・絵・図 説明 グラフ

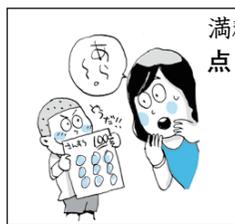
() に字を加えてちがう言葉にするんだね



体温計



(家) 計



満点



同点



(げん) 点



夏まつり



(ひな) まつり



(後の) まつり

どれにせよ、私にはまの新聞を書くのね



写真を



ノートを

(とる)



スピードを



かごをすく



手を

(あげる)



汗を



背中を



手紙を

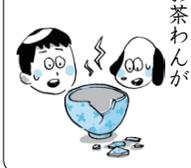
(かく)



なべを火に



服を



お茶わんが

(かける)

文の組み立て
主語・述語・修飾語

名前 _____ 年 _____ 組 _____ 番 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

1 文の主語には「を」を、述語には「を」を引きましよう。

※定数 各10点

- わたしは、妹と公園へ 出かけた。
- 桜の花が 枝いっぱいに さいていた。
- 今年の 夏は とても 暑い。
- せみの 鳴き声も いちだんと 大きい。



2 次の文が、説明しているものを、□から選んで書きましよう。

各10点

どうする、どんなだ、なんだなどを表す言葉。

述語

だれが(は)、何が(は)などを表す言葉。

主語

主語 修飾語 述語



3 ーの言葉が、くわしくしている言葉を書きましよう。

各10点

父は、
大きく 小さい
大きい 小さい
小さい 小さい
大きい 小さい

弟が、
小さい 小さい
小さい 小さい
小さい 小さい
小さい 小さい

手をふった。
手をふった。
手をふった。
手をふった。

ぼうしをふった。
ぼうしをふった。
ぼうしをふった。
ぼうしをふった。

エ ウ イ ア
ぼうし(を) ぶった ぶった 手(を)

漢字の音と訓

名前 _____ 年 _____ 組 _____ 番 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

1 漢字を、音読みはカタカナで、訓読みはひらがなで書きましよう。

各15点



たえは
ビョウ (ひら)
平等 平泳ぎ



- 音楽の時間は、美しい音色を 楽しもう。
- 豆腐は、大豆というしゆ類の豆から作られています。
- 酒屋さんで日本酒と、あま酒を買ってきました。

初

名前 _____ 年 _____ 組 _____ 番 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

2 ♡◆にはそれぞれ同じ漢字が入ります。合う漢字を書きましよう。

各10点

初

♡ ショ 心者
♡ ハツ 耳
♡ ショ 品
♡ ショ 商
♡ ショ 物
♡ ショ 路
♡ ショ 家
♡ ショ 上

読み方
ちじん
しんゆう
どうぶん

意味
知っている人
親しい友
等しく分ける



たと言言葉の巻

名前 _____

「○○のような△△△」の編

目を覚める ような

息を のむような

雲をつかむ ような

火が 消えたような

いもをあらうような

美しい山の

静かな商店街

特大のホームラン

朝の満員電車

はつきり計画

ひらめき道場
自分から手をのばすの巻

「先生が好きなのは...」の編



先生は、大好きな本を、たくさん読んで、考えることも、昔は、国語のことを「読み方と呼んで、いたんだよ。」

先生は、その、勉強の、できる子が、好きさ。

先生は、みんなに、読書好きに、なつて、ほしいな。

先生も本が大好きなんだ。

たくさん本を、読んで、考えることも、昔は、国語のことを「読み方と呼んで、いたんだよ。」

みんなも、本好きに、なつて、自分から、手をのばす、ようにね。

